



だっこ通信

第27号

2022. 10月発行



だ いじょうぶ・つ ながる・こ そだて



あるある話「きょうだいでもちがう」

きょうだいを見ていて、同じ環境で育っているのにずいぶん違うなあと感じることはありませんか？ 似ている所もたくさんあるけれど「こんなに違うんだ！」と驚くこともあると思います。

初めてけん玉を手にした、あるきょうだいのお話を紹介します。



上の子は慎重かつ努力家。「どうやるの？」と周りの大人にやり方を聞き、教えてもらった通りに練習しています。あきらめずに何回も何回も……。親からすればほほえましく、安心して見ていられる行動です。

下の子は好奇心旺盛で行動派。けん玉の球を床に置いた途端、柄の部分を中心に自分の体を回し始めました。糸の先の球は周回軌道を描く惑星のように大きな円を描きながら、床の上を転がっています。近くに物が無かったのが幸いでした。親からするとヒヤリとする行動です。

上の子は、正しい使い方や遊び方を学んでひたむきに努力することができます。



下の子は、遊び方こそ危なっかしさがありますが、独創性に富み、探究心旺盛です。

どちらも、すごく魅力的だと思います！

★本日のお題

みんなちがって みんないい！



ついつい「自分の想定内のことは○、想定外のことは△」と思いがちです。想定外のことをされると、大人でも戸惑ったり動揺したりしますが、ちょっと視点を変えて見てみると新たな気付きや発見があります。例えば「下の子は型にとらわれず独創性があり、発想が豊か」などと思うようにすると、少し余裕をもって見られるかもしれません。もちろん危ない時は注意し、きちんと教えることは大切ですが、それぞれの良さや個性を大事にして伸ばしていけるといいですね。



発行者：さくら市生涯学習課(担当 鈴木)